

東洋水産から株主の皆様へ 2013年4月1日～2014年3月31日

第66期決算のご報告



株主・投資家の皆様へ



いまむら まさなり
代表取締役社長 **今村 将也**

1953年、築地市場で誕生し、冷凍マグロの輸出事業からスタートした東洋水産は、現在では水産食品事業にとどまらず、冷蔵事業、加工食品事業を手がける総合食品メーカーに成長し、新しい価値の創造に努めてまいりました。

1975年発売のチルド麺「マルちゃん焼そば3人前」、1978年発売の「赤いきつねうどん」並びに1980年発売の「緑のたぬき天そば」といった多数のロングセラー商品が生まれ、2011年発売の「マルちゃん正麺」につきましては袋麺の新しい価値を創造した商品として好評を頂いております。

1972年にはアメリカ ロサンゼルスに現地法人マルチャンインクを設立し、今日ではアメリカ国内の4工場にて即席麺を製造し北米に供給する体制をとっております。

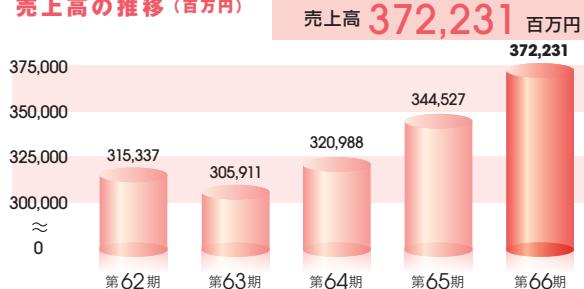
そのような中、当社は2009年に、「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」というスローガンを策定いたしました。東洋水産グループ一体となりやる気と誠意を持ち「安全でおいしい商品」「確実なサービス」をお客様にお届けし、株主様をはじめステークホルダーの皆様が笑顔になれるようチャレンジし続けてまいります。

株主の皆様には、引き続きご一層のご指導ご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2014年6月

連結決算ハイライト

売上高の推移 (百万円)



経常利益の推移 (百万円)



営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、為替の円高是正や各種政策の効果により景気は緩やかに回復してきましたが、海外景気の下振れや消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等、景気を下押しするリスクも依然として存在しております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを

提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高は 372,231 百万円（前年同期比 8.0%増）、営業利益は 30,595 百万円（前年同期比 3.3%増）、経常利益は 32,243 百万円（前年同期比 0.8%増）、当期純利益は 22,723 百万円（前年同期比 31.5%増）となりました。

次期の見通し

次期（2015年3月期）の見通しにつきましては、景気は緩やかに回復してきており、今後もこの回復基調が続くことが期待されますが、消費税増税による駆け込み需要の反動や海外景気の下振れ等が景気を下押しするリスクとなっております。

当食品業界におきましては、個人消費の持ち直し傾向もみられるものの、消費者の生活防衛意識や低価格志向が続く中で、市場環境は引き続き厳しい状況にあります。また、食の安全・安心等企業の社会的責任がますます求められていくものと考えております。当社グループにおきましては、さらに地域別・

製品別の販売促進を強化した積極的な営業活動を実施するとともに、当期と同程度の経常利益の達成を目指しております。また、費用面でもより厳しい販売競争に対応するため、物流の再構築・生産部門での徹底したコストの削減に注力していく所存であります。

以上により、通期の売上高は 388,000 百万円、営業利益は 31,000 百万円、経常利益は 32,500 百万円、当期純利益は 20,500 百万円を見込んでおります。なお、対米ドルの換算為替レートは 102.00 円で想定しております。

当期純利益の推移（百万円）



次期見込（2015年3月期）

連結売上高 **388,000** 百万円

連結経常利益 **32,500** 百万円

連結当期純利益 **20,500** 百万円

セグメント情報

水産食品事業 売上高 **33,455** 百万円



水産食品事業は、マグロ、ロブスター等の高価格帯の魚種は比較的順調に推移しましたが、円安や主要水産物の漁獲不振により原材料価格が上昇したこと、また、鮭鱒、イカ、サバ、サンマ等の大衆魚の漁獲不振もあり、販売は厳しい環境が続きました。このような状況の中、当社の得意商材の鮭鱒、魚卵、マグロ等を中心に付加価値商品の新規開発に重点を置き、量販

店・コンビニ等に積極的な販売を行った結果、売上高は33,455百万円（前年同期比3.4%増）となりましたが、鮭鱒、海老、南方魚等の原料価格上昇分を製品価格に転嫁できなかったこと、前浜事業の不振を受け減価償却費の増加を補えないこと等により、セグメント損失は160百万円（前年同期はセグメント利益49百万円）となりました。

海外即席麺事業 売上高 **75,422** 百万円



海外即席麺事業は、大手量販店との連携強化や、主力製品及び新カテゴリーのヤキソバ、ボウルの積極的な販売活動により、主に中米・南米を中心に販売数量が堅調に推移したこと及び前期と比較した円安の影響により、売上高は75,422百万円（前年同期比6.8%

増）となりました。セグメント利益は、円安効果はありませんでしたが、新カテゴリー導入等により販売促進費が増加したことから13,127百万円（前年同期比0.3%減）となりました。なお、3月よりマルチャンテキサス、INC. が稼働を開始しております。

国内即席麺事業 売上高 **124,780** 百万円



国内即席麺事業は、カップ麺では、主力の「赤いきつねうどん」「緑のためぎ天そば」等の和風麺シリーズで積極的な販売活動に取り組んだ結果、堅調に推移しました。ノンフライカップ麺の「麺づくり」はリニューアルや消費者キャンペーンを実施し、好調に売上を伸ばしました。また、焼そば類やワンタン等の新商品を積極的に投入し、さらに、シニアや女性をターゲットにした「大人のこだわり」

「hanauta」等で新規の需要を掘り起こすことに取り組んだ結果、カップ麺全体でも順調に推移しました。袋麺では、「マルちゃん正麺うどん」「マルちゃん正麺カレーうどん」の発売や、プロモーション活動等を実施し、引き続き順調に売上を伸ばしました。その結果、売上高は124,780百万円（前年同期比6.7%増）、セグメント利益は12,142百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

低温食品事業 売上高 **63,950** 百万円



低温食品事業は、生麺では主力品である「マルちゃん焼そば3人前」は、製法の見直しをすると共にパッケージデザインを変更し、キャンペーンの強化を図り拡売に努めました。また「えび塩味焼そば3人前」、「冬のクリームスバゲッティ3人前」等、季節折々の風味を取り入れた季節限定品を展開し好調に推移しました。さらに、レンジタイプの和風麺「レンジでもおいしい」シリーズも引

き続き伸長したことにより、生麺全体では前年を上回る結果となりました。冷凍食品類では、主力の業務用の冷凍麺は、産業給食や外食惣菜の販路拡大により堅調に推移しました。これらの結果、売上高は63,950百万円（前年同期比3.0%増）となりました。セグメント利益は、為替の変動や原材料価格の高騰の影響を受け3,344百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

加工食品事業 売上高 **18,455** 百万円



加工食品事業は、米飯については既存品を拡販したことにより増収となりました。フリーズドライ製品は、主力品の5食入りパックを中心に好調に推移しました。魚肉ハムソーセージは、売上数量は増加しましたが、卸売価格を下げたことにより減収となりました。調味料類、

削り節は市場の低迷もあり、売上が減少しました。その結果、売上高は18,455百万円(前年同期比4.0%増)、セグメント利益は206百万円(前年同期はセグメント損失85百万円)となりました。

冷蔵事業 売上高 **15,259** 百万円



冷蔵事業は、円安等の影響で、輸入原料の取扱いは低調に推移しましたが、冷凍食品を中心に荷動きが堅調に推移したことから、売上高は15,259百万円(前年同期比2.3%増)となりました。セグメント利益は、電力

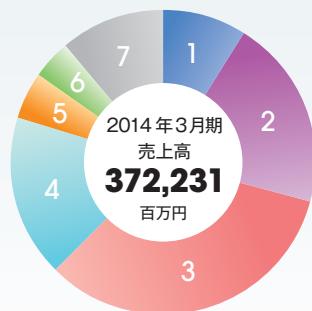
料金の値上げにより動力費が増加しましたが、保管料金の見直しや省エネ対策に取り組んだ結果、1,224百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

その他 売上高 **40,934** 百万円

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は40,934百万円(前年同期比37.7%増)、セグメント利益

は1,303百万円(前年同期比4.6%減)となりました。

事業セグメント別売上高構成比



1. 水産食品事業	8.98%	33,455 百万円
2. 海外即席麺事業	20.26%	75,422 百万円
3. 国内即席麺事業	33.52%	124,780 百万円
4. 低温食品事業	17.18%	63,950 百万円
5. 加工食品事業	4.96%	18,455 百万円
6. 冷蔵事業	4.10%	15,259 百万円
7. その他	11.00%	40,934 百万円

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 2014.3.31	前連結会計年度 2013.3.31	
資産の部	流動資産 ◀ POINT 01	164,904	149,361
	現金及び預金	54,082	50,496
	受取手形及び売掛金	48,989	45,948
	繰延税金資産	1,822	1,737
	その他	60,511	51,685
	貸倒引当金	△501	△507
	固定資産 ◀ POINT 02	143,882	125,527
	有形固定資産	119,179	102,262
	無形固定資産	2,408	2,349
	投資その他の資産	22,293	20,915
資産合計	308,787	274,889	
負債の部	流動負債 ◀ POINT 03	50,669	47,167
	固定負債 ◀ POINT 04	21,181	18,550
	負債合計	71,851	65,717
純資産の部	株主資本	222,683	204,586
	資本金	18,969	18,969
	資本剰余金	22,516	22,516
	利益剰余金	189,404	171,246
	自己株式	△8,207	△8,145
	その他の包括利益累計額	881	△5,902
	その他有価証券評価差額金	3,281	2,185
	繰延ヘッジ損益	11	32
	為替換算調整勘定	△2,800	△8,120
	退職給付に係る調整累計額	390	-
	少数株主持分	13,371	10,487
	純資産合計 ◀ POINT 05	236,936	209,172
	負債純資産合計	308,787	274,889

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 2013.4.1～2014.3.31	前連結会計年度 2012.4.1～2013.3.31
売上高	372,231	344,527
売上原価	230,221	214,908
売上総利益	142,010	129,619
販売費及び一般管理費	111,414	99,995
営業利益	30,595	29,623
営業外収益	1,956	2,646
営業外費用	308	271
経常利益	32,243	31,997
特別利益	4,383	133
特別損失	323	3,193
税金等調整前当期純利益	36,304	28,937
法人税、住民税及び事業税	10,781	12,204
法人税等調整額	2,242	△1,033
少数株主損益調整前当期純利益	23,279	17,766
少数株主利益	556	486
当期純利益	22,723	17,280

連結包括利益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 2013.4.1～2014.3.31	前連結会計年度 2012.4.1～2013.3.31
少数株主損益調整前当期純利益	23,279	17,766
その他の包括利益	6,446	9,053
包括利益	29,726	26,819
(内訳) 親会社株主に係る包括利益	29,117	26,274
少数株主に係る包括利益	608	545

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 2013.4.1～2014.3.31	前連結会計年度 2012.4.1～2013.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー ◀ POINT 06	29,377	33,367
投資活動によるキャッシュ・フロー ◀ POINT 07	△28,521	△19,958
財務活動によるキャッシュ・フロー ◀ POINT 08	△6,238	△4,565
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,462	3,094
現金及び現金同等物の増減額	△3,920	11,938
現金及び現金同等物の期首残高	51,341	39,402
現金及び現金同等物の期末残高	47,420	51,341

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
2013年3月31日残高	18,969	22,516	171,246	△8,145	204,586	2,185	32	△8,120	-	△5,902	10,487	209,172
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当			△5,618		△5,618							△5,618
当期純利益			22,723		22,723							22,723
自己株式の取得				△61	△61							△61
連結範囲の変動			1,053		1,053							1,053
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）						1,095	△21	5,319	390	6,784	2,883	9,667
連結会計年度中の変動額合計	-	-	18,158	△61	18,096	1,095	△21	5,319	390	6,784	2,883	27,764
2014年3月31日残高	18,969	22,516	189,404	△8,207	222,683	3,281	11	△2,800	390	881	13,371	236,936

連結財務諸表 POINT

POINT

01 流動資産

流動資産は、前連結会計年度に比べ15,543百万円(10.4%)増加し、164,904百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金、有価証券が増加したことによるものであります。

POINT

02 固定資産

固定資産は、前連結会計年度に比べ18,354百万円(14.6%)増加し、143,882百万円となりました。これは主に、建物及び構築物、土地、リース資産が増加したことによるものであります。

POINT

03 流動負債

流動負債は、前連結会計年度に比べ3,502百万円(7.4%)増加し、50,669百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、未払費用が増加したことによるものであります。

POINT

04 固定負債

固定負債は、前連結会計年度に比べ2,630百万円(14.2%)増加し、21,181百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債(前連結会計年度は退職給付引当金)が減少しましたが、リース債務、繰延税金負債が増加したことによるものであります。

POINT

05 純資産

純資産は、前連結会計年度に比べ27,764百万円(13.3%)増加し、236,936百万円となりました。これは主に、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

POINT

06 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べ3,990百万円減少し、29,377百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益は増加しましたが、退職給付に係る負債が減少し、売上債権及びたな卸資産が増加したことによるものであります。

POINT

07 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ8,563百万円増加し、28,521百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入は増加しましたが、有価証券の取得による支出及び有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものであります。

POINT

08 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ1,672百万円増加し、6,238百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が増加したことによるものであります。

個別財務諸表



個別貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目		当事業年度 2014.3.31	前事業年度 2013.3.31
資産の部	流動資産	106,070	92,524
	固定資産	106,796	104,790
	有形固定資産	72,204	71,746
	無形固定資産	2,251	2,262
	投資その他の資産	32,340	30,781
資産合計		212,867	197,315
負債の部	流動負債	65,459	61,808
	固定負債	15,946	13,070
	負債合計	81,405	74,879
純資産の部	株主資本	128,395	120,378
	資本金	18,969	18,969
	資本剰余金	22,516	22,516
	利益剰余金	96,880	88,802
	自己株式	△9,971	△9,909
	評価・換算差額等	3,066	2,057
	その他有価証券評価差額金	3,058	2,031
	繰延ヘッジ損益	7	26
	純資産合計	131,461	122,435
	負債純資産合計	212,867	197,315

個別損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当事業年度 2013.4.1～2014.3.31	前事業年度 2012.4.1～2013.3.31
売上高	241,704	231,569
売上原価	140,654	135,563
売上総利益	101,049	96,006
販売費及び一般管理費	88,274	83,266
営業利益	12,775	12,739
営業外収益	6,029	11,257
営業外費用	314	461
経常利益	18,490	23,536
特別利益	1,674	7
特別損失	282	1,449
税引前当期純利益	19,883	22,093
法人税、住民税及び事業税	4,822	6,129
法人税等調整額	1,362	△495
当期純利益	13,699	16,459

個別株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本										評価・換算差額等			純資産 合計		
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益		評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計		特別償却 準備金	固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金							利益 剰余金 合計
2013年3月31日残高	18,969	20,155	2,360	22,516	2,593	819	6,146	42,000	37,243	88,802	△9,909	120,378	2,031	26	2,057	122,435
事業年度中の変動額																
特別償却準備金の積立						6			△6							
特別償却準備金の取崩						△171			171							
固定資産圧縮積立金の積立							665		△665							
固定資産圧縮積立金の取崩							△124		124							
剰余金の配当									△5,620	△5,620		△5,620				△5,620
当期純利益									13,699	13,699		13,699				13,699
自己株式の取得											△61	△61				△61
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)													1,027	△18	1,009	1,009
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	-	△165	540	-	7,703	8,078	△61	8,016	1,027	△18	1,009	9,025
2014年3月31日残高	18,969	20,155	2,360	22,516	2,593	653	6,686	42,000	44,947	96,880	△9,971	128,395	3,058	7	3,066	131,461



マルちゃん焼そば、再発見!

1975年の誕生から、39周年。おかげさまで「マルちゃん焼そば」はチルド麺市場での売上ナンバーワン*1商品に育ち、累計出荷数120億食*2を超え、日本中の食卓でおなじみの味となりました。39年分の感謝の気持ちと、「マルちゃん焼そば」をもっともっと楽しんでいただきたいという思いを込めて、「マルちゃん焼そば、再発見!」をテーマにさまざまな取り組みを行っています。

*1: 株式会社KSP-SP調べ2012年12月～2013年11月期間計 金額ベース/チェーンストアエイジ 2014年1月15日号掲載
*2: 1975年11月の発売から2013年3月時点までの「ソース味」のみの累計出荷数



再発見! 1975年誕生、発売39周年!

それまで屋台やお店の味として食べるものだった「焼そば」を、誰もが簡単に作れる家庭料理となるようにと開発。39年前は1世帯あたりの平均人員数が3.27人だったことや、家庭用のフライパン(直径26～28cm)で作るのに丁度良い量ということで、3人前で発売しました。



発売当時のパッケージ

再発見! 8月8日は「マルちゃん焼そばの日」

もっと多くの方に食べていただきたい!という願いを込め、8月8日を「マルちゃん焼そばの日」に制定しました。

「マルちゃん焼そばの日」8月8日のわけ



- ・「焼そば」を食べる機会が増える夏であること
- ・〇(マル)を重ねた「8」の形がマルちゃんのイメージに似ていること
- ・「焼そば」の「や」が8に通じること

再発見! おかげさまで累計126億食超! 売上No.1!

累計出荷数の126億食分をパック数にすると、3人前なので42億パック。横幅が約30cmの商品なので、約126万kmとなり、地球を約30周以上できる計算です。



再発見! さらにほぐれやすくなって、おいしく!

「めん」のほぐれやすさをさらに向上させました。これまでに比べて、調理時に「めん」がほぐれやすく、切れにくくなるとともに、粉末ソースとの混ぜりやすさもさらにUP。食べるときに箸で「めん」を持ち上げる際にも絡みづらいため、よりおいしく召し上がっていただけるようになりました。

再発見! 多くの種類があって、その日の気分で楽しめる!

2002年に「塩焼そば」を発売して以来、「たらこ味」や「お好みソース味」などバリエーションを増やし、「焼そば」の楽しみ方の幅を広げています。また、夏限定で「カレー焼そば」を発売中です。





会社概要

創立

1953年3月25日

本社

〒108-8501

東京都港区港南二丁目13番40号

電話 (03)3458-5111(代表)

資本金

189億6,952万円

従業員数

2,189人

事業所数

工場8、冷蔵庫14、

支店・営業所28

関係会社

31社(海外9社含む)

役員(2014年6月27日現在)

代表取締役会長 堤 殷

代表取締役社長 今村 将也

専務取締役 吉野 廣治

常務取締役 山本 和夫

常務取締役 三浪 博行

常務取締役 住本 憲隆

取締役 及川 雅晴

取締役 藤谷 忠

取締役 沖 斉

取締役 豊田 勉

取締役 真喜屋 理恵子

社外取締役 浜田 とも子

取締役 高橋 清

取締役 石黒 勝彦

取締役 角 忠

常勤監査役 山下 透

常勤監査役 南 守之

社外監査役 高良 明

社外監査役 森 勇

支店・営業所

- ◆北海道支店 (旭川営業所、函館営業所、帯広営業所)
- ◆東北支店 (仙台営業所、青森営業所、盛岡営業所、秋田営業所、福島営業所、山形営業所)
- ◆信越支店 (新潟営業所、長野営業所)
- ◆北関東支店 (栃木営業所、茨城営業所、群馬営業所)
- ◆東京支店 (東京営業所、千葉営業所、埼玉営業所、神奈川営業所、甲府営業所)
- ◆静岡支店
- ◆名古屋支店 (金沢営業所)
- ◆大阪支店
- ◆中四国支店 (中国営業所、四国営業所)
- ◆福岡支店 (沖縄営業所)

冷蔵庫

- ◆札幌冷蔵庫
- ◆石狩冷蔵庫
- ◆大井埠頭冷蔵庫
- ◆平和島冷蔵庫
- ◆城南島冷蔵庫
- ◆東扇島第一冷蔵庫
- ◆東扇島第二冷蔵庫
- ◆東扇島第三冷蔵庫
- ◆名古屋冷蔵庫
- ◆中部物流センター
- ◆神戸冷蔵庫
- ◆舞洲冷蔵庫
- ◆福岡冷蔵庫
- ◆佐賀冷蔵庫

工場

- ◆北海道工場 ◆関東工場 ◆埼玉工場 ◆相模工場 ◆焼津工場 ◆田子工場 ◆神戸工場 ◆福岡工場

主要グループ企業

国内連結子会社

- ◆八戸東洋株式会社 ◆甲府東洋株式会社 ◆フクシマフーズ株式会社
- ◆宮城東洋株式会社 ◆株式会社酒悦 ◆新東物産株式会社
- ◆伊万里東洋株式会社 ◆株式会社フレッシュダイナー ◆株式会社東京商社
- ◆埼玉東洋株式会社 ◆湘南東洋株式会社 ◆ユタカフーズ株式会社
- ◆銚子東洋株式会社 ◆スルガ東洋株式会社 ◆ミツワデイリー株式会社 ◆株式会社シマヤ

海外連結子会社

- ◆MARUCHAN, INC. ◆MARUCHAN VIRGINIA, INC. ◆MARUCHAN TEXAS, INC.
- ◆MARUCHAN DE MEXICO, S.A. de C.V. ◆SANMARU DE MEXICO, S.A. de C.V.
- ◆PAC-MARU, INC.

非連結子会社 他

- ◆ヤイズ新東株式会社 ◆東和エステート株式会社
- ◆海南東洋水産有限公司(中国) ◆湛江東洋水産有限公司(中国) ◆青島味豊調味食品有限公司(中国)
- ◆仙波糖化工業株式会社* ◆下田東水株式会社 ◆株式会社いらご研究所
- ◆ヒガシマルインターナショナル株式会社 *持分法適用関連会社



株式の状況

発行可能株式総数…………… 427,000,000 株
 発行済株式総数…………… 110,881,044 株
 株主数…………… 5,249 名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
BBH FOR MATTHEWS ASIA DIVIDEND FUND	3,370	3.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,354	3.28
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,951	2.88
株式会社三井住友銀行	2,935	2.87
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505223	2,757	2.69
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウント ノントリーティー	2,622	2.56
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	2,601	2.54
GIC PRIVATE LIMITED	2,335	2.28
一般財団法人東和食品研究振興会	2,067	2.02
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	2,049	2.00

(注) 出資比率は自己株式(8,697,803株)を控除して計算しております。

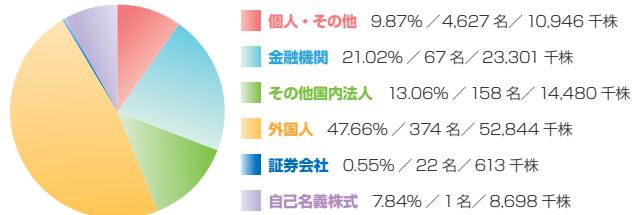
(注) 出資比率は小数点以下第2位未満を四捨五入して計算しております。

株価及び売買高の推移 (東京証券取引所)



株式分布状況

所有者別



所有株数別



株主優待制度



3,000円相当の製品例

当社では、株主の皆様への利益還元策の一環として、ご所有の株式数に応じて当社製品の詰め合わせを進呈する株主優待制度を導入しています。

今年につきましては、3月末現在、1,000株以上ご所有の株主様に対し3,000円相当の当社製品を、3,000株以上ご所有の株主様に対し5,000円相当の当社ならびに当社グループ会社の製品を、それぞれ6月に進呈させていただきます。

●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	期末配当は3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
公告方法	電子公告 ただし電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 アドレス http://www.maruchan.co.jp/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店で行っております。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)

●株式に関する各種手続きについて

・住所変更、単元未満株式の買取、配当金受領方法の指定等

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・特別口座から証券会社の口座への振替申請

特別口座の株式については、単元未満株式の買取請求を除き売買ができません。売買を行う場合は証券会社の口座への振替が必要になります。お手続きの詳細は、上記「株主メモ」記載の電話照会先にご確認ください。

・未払配当金の支払請求

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ゆうちょ銀行の貯金口座で配当金をお受取いただけます

配当金の振込先として、銀行等の預金口座に加えて、ゆうちょ銀行の貯金口座もご指定いただけます。

希望される場合は、株主様の口座のある証券会社にお申出ください。特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

社会活動への取り組み

スポーツを通じた 子供たちの健全育成支援

当社では、柔道や剣道を通じ、多くの少年・少女に健康で丈夫な体と、礼儀や道徳を重んじる心、フェアプレーの精神を育むことを目的に、様々な支援活動を行っています。

1986年より、全日本柔道連盟や各都道府県の柔道連盟のご協力の下、「マルちゃん杯少年柔道大会」を主催。現在では全国7箇所での地方大会と、全国決勝大会を開催しています。また、2012年より全日本柔道連盟のオフィシャルサプライヤーとして、日本柔道界発展の助成を行うことにより、将来を担う子供たちの育成支援をさらに深めています。

夏休みには、本社ビル8階にある武道場を利用し、近隣の小学生を対象にした柔道・剣道教室を20年以上にわたり開催しています。いずれも段位を持つ社員が、講師として地域の子供たちに指導を行っています。



夏季少年剣道教室



「マルちゃん杯少年柔道大会」
の試合風景